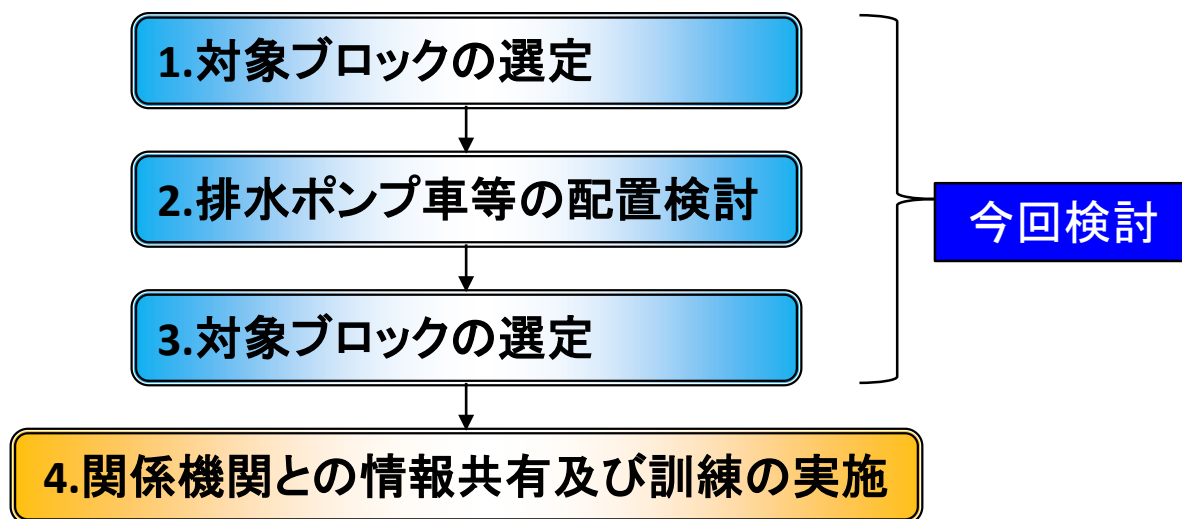


【目的】

想定し得る最大規模の降雨による浸水に対して、速やかに的確な排水作業を行い、浸水継続時間を短縮することを目的として、排水ポンプ車等の配置に関する効率的な排水計画(案)を作成する。

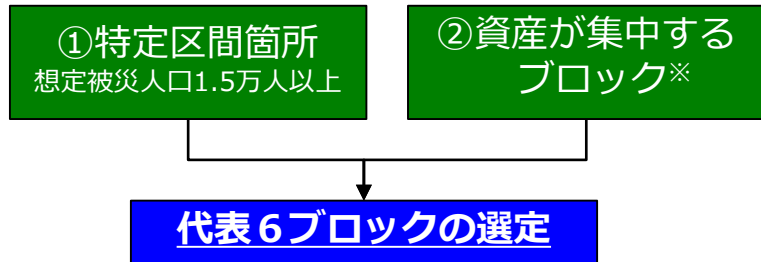
【検討内容】

- ① 遠賀川水系において想定最大規模(L2)及び計画規模(L1)の洪水が発生した場合に、浸水継続時間が長期に及ぶ氾濫ブロックを対象
- ② 対象としたブロックに対し、地盤高、浸水深、浸水継続時間等を勘案し、排水ポンプ設置個所、待機箇所、進入ルートを検討
- ③ 協議を踏まえ、今後情報共有や訓練等の実施を行う。



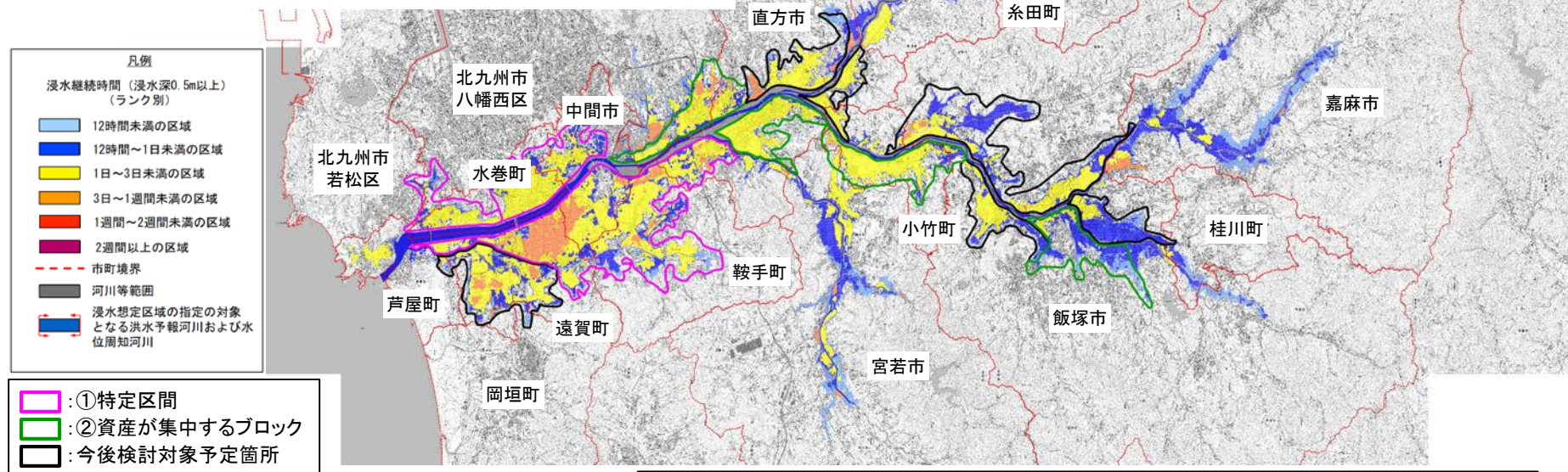
## 【1.対象ブロックの選定】

■ 特定区間箇所及び資産が集中する上位5位を対象として、下記6ブロックを選定



※今回のブロック選定においては、計画規模においても対応できるように、以下の基準において設定

- 計画規模(L1)の浸水継続時間1日以上の上位5位の浸水箇所
- 一定資産の基準として被害額が上位5つのブロック



※ブロック割については、河川や破堤後の浸水範囲を勘案し決定

## 【2.排水ポンプ車等の配置検討】

排水ポンプ車は、浸水被害発生時においても浸水しない場所として、堤防天端上に配置し、効率的な排水が可能となるよう、平面図・横断図、氾濫シュミレーション等から、氾濫水が集まりやすい箇所を選定。

### 【配置選定のポイント】

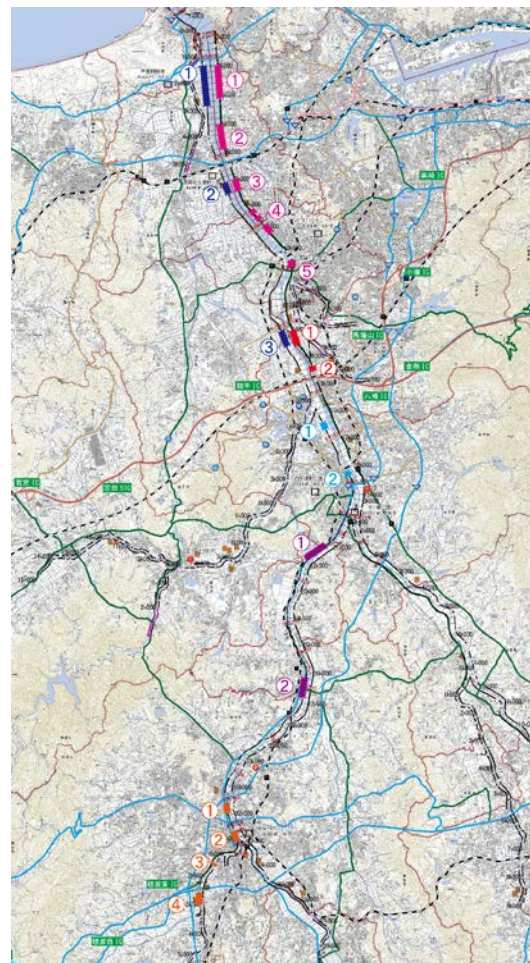
項目	内容
排水作業	<ul style="list-style-type: none"> <li>排水ポンプ車の配置完了後、<b>昼夜の別なく、連続運転</b>する。</li> <li>排水ポンプ車へ必要に応じて、<b>給油を行う場合</b>もある。</li> </ul>
配置箇所	<ul style="list-style-type: none"> <li>堤防天端上などの<b>浸水しない箇所</b>。</li> <li>排水ポンプ車の車両幅を考慮し、<b>幅員5.0m以上</b>が確保されている箇所。</li> <li>排水ポンプ車の能力を考慮し、堤防天端高と堤内地盤高の<b>高低差が8.0m以下</b>の箇所。</li> <li>進入ルートを踏まえた上で、氾濫シミュレーション結果等より、<b>氾濫水が集まりやすい箇所</b>。</li> </ul>
照明車	照明装置搭載型の排水ポンプ車もあるが、搭載していない車両もあるため、基本的には、 <b>排水ポンプ車2台につき1台の照明車を配備</b> 。
配置台数	排水ポンプ車及び照明車の車両長及び排水ホースの設置、作業員の作業スペース等を考慮し、 <b>20m/1台</b> とする。
待機場所	排水作業箇所になるべく近く、 <b>浸水しない箇所</b> で、排水作業箇所への <b>進入ルートが確保</b> されており、 <b>公共的なスペース</b> を選定する。(堤防天端の非兼用箇所等)
給油車両	排水ポンプ車の配置箇所において、 <b>幅員が5.0m以上確保</b> されている場合、 <b>燃料補給車の通行が可能</b> と判断する。 排水ホース設置部については、 <b>ホースブリッジを設置</b> して、燃料補給車や一般車両の通行を可能とする。



写真1. 排水ポンプ車の排水状況事例

写真2. 排水ポンプ車等災害対策車両の集結状況事例

### 【配置箇所】



氾濫ブロック	市町村	No
遠賀川左岸 2L	遠賀町 鞍手町	①
		②
		③
遠賀川左岸 3L	直方市	①
		②
遠賀川左岸 4L	小竹町	①
		②
遠賀川左岸 6L	飯塚市	①
		②
		③
		④
遠賀川右岸 3R	水巻町	①
		②
		③
		④
		⑤
遠賀川右岸 4R	北九州市 八幡西区	①
		②